

4 教育及び研究

1 学部・大学院の概要

【学部】

○文化学部

人文・社会系諸科学の知識を身につけ、多様な社会や文化を理解し、豊かな共生社会の実現、新たな文化の創造及び自律した自己の成長を追求することを目指し、以下の各項目における能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 幅広い教養と人文・社会系諸科学の基本的な知識を身につけ、多様な文化に関して多角的な視点から理解することができる。
2. 言語文化系と地域文化創造系を中心とする人文・社会系諸科学の専門的知識を体系的に理解し、その知識体系を自らの問題意識の中に位置づけることができる。

(汎用的・実践的技能)

3. 社会や文化に関する深い洞察に基づいて、日本語や外国語による高度な文章表現能力・他者との円滑なコミュニケーション能力・グローバルな情報発信能力を身につけている。
4. 必要な情報を幅広く収集し、的確に整理・分析することを通じて、その問題を解決できる能力を身につけている。

(態度・志向性)

5. 豊かな共生社会の実現に向けて、能動的かつ自律的に地域社会・国際社会の諸問題の解決に取り組むことができる。
6. 社会や文化に深い関心を持ち、生涯にわたって学び、考えていく意欲を持っている。

(総合的な学習経験と創造的思考力)

7. これまでに体得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自由な発想のもとで新たな文化を創造することに貢献するとともに、自律した個人としての自己の成長を追求することができる。

○看護学部

看護学部は、豊かな人間性と社会の課題に取り組む態度を身につけ、看護の理念や専門的知識・技術、ヒューマニズムを礎として、将来に向かって拓かれた看護を構築し、健康問題を人々と共に解決し、人々の健康生活の創造に貢献ができる豊かな人間性・創造性を獲得することを目指し、以下の能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 専門的知識、技術、科学的論理性及び倫理的判断に基づいて、保健・医療・福祉などのあらゆる場で看護を実践することのできる能力を有している。

(汎用的・実践的技能)

2. 人間の多様な生き方や価値観を理解し、尊厳と権利を尊重して、コミュニケーションを取りながら他者と関係性を築くことのできる能力を有している。
3. 地域の健康課題を予測し、リーダーシップを発揮して多職種と協働しながら健康課題を解決することのできる能力を有している。

(態度・志向性)

4. 看護専門職者としてのアイデンティティを培い、生涯にわたって専門性を高めることのできる能力を有している。

(総合的な学習経験と創造的思考力)

5. 看護の質の向上に資する研究をすることができる基礎的な能力を有している。
6. 国際的及び学際的見地に立って看護学を理解することのできる能力を有している。
7. 看護の専門性を活かして、地域で生活する人々の健康と安全・安心な社会を創造することのできる基礎的な能力を有している。

○社会福祉学部

共生社会を志向する市民としての素養を基礎に、社会福祉専門職として必要な価値・知識・技術を獲得することを目指し、以下の各項目における能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 現代社会で暮らす人々のニーズに対応する幅広い教養を基盤として、社会福祉の専門的知識を体系的に理解することができる。
2. 人々の生活を人間と環境の両側面から理解し、個々におかれている状況から普遍的な福祉課題までに対応する実践的な知識を身につけている。

(汎用的・実践的技能)

3. 多様化・複雑化する福祉ニーズを科学的視点で捉え、個人が抱えている課題を社会との関係において把握することができる。
4. コミュニケーションスキルを用いて、福祉課題の解決に必要な情報を収集・分析し、複眼的・論理的に検討したうえで、課題解決の方策を提案することができる。

(態度・志向性)

5. 社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、人々の生活の安寧と質の向上に貢献することができる。
6. ノーマライゼーションを基本的視点として、人権や社会正義の観点から福祉課題に主体的に対応する志向性を身につけている。

(総合的な学習経験と創造的思考力)

7. 個人の尊厳と福祉理念を重視し、権利擁護に向けた支援を創造的・科学的に展開することができる。
8. 総合的な視野を持って、保健・医療・福祉の専門職と連携しながら社会福祉を実践することを通して、専門職としての自己の成長を追求することができる。

○健康栄養学部

豊かな教養と社会の諸問題に取り組む態度を身につけ、人間や健康の本質を理解しながら、生命の源である「食」を探究し、人々が健康に生活できるよう貢献できることを目指し、以下の各項目における能力を身につけた者に学士の学位を授与する。

(知識・理解)

1. 広範な学問領域における教養を身につけることで、グローバル化する現代社会の諸問題や地域社会の特性を理解することができる。
2. 健康の保持増進、傷病の予防・回復のために必要な栄養学的知識と技術、指導方法を修得している。

(汎用的・実践的技能)

3. 地域を取りまく諸問題の解決に必要な情報を収集・分析・整理して、提案することができる。
4. 管理栄養士に必要とされる知識、技能、態度及び考え方の総合的能力を身につけている。

(態度・志向性)

5. 栄養や食生活の専門家として、知識や技術を高めるよう生涯にわたって努力することができる。

(総合的な学習経験と創造的思考力)

6. 公衆衛生を理解し、保健・医療・福祉・介護システムの中で、栄養・給食関連サービスのマネジメントを行うことができる。
7. 健康の保持増進、疾病の一次、二次、三次予防のための栄養教育、食生活指導を行うことができる。

【大 学 院】

看護学研究科の理念

人間の存在と生命の尊厳に基づいて、広い視野に立って精深な学識を授け、看護学の学術基盤を充実・発展させ、さらに革新することに寄与できる高度な教育・研究・実践能力をもつ看護専門職者を養成する。

○看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）

博士前期課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、高度な専門的実践能力と看護分野における研究能力を養うことを目的とする。

1. 個人-家族-地域を多角的、複眼的視点で捉え、看護専門領域に関する理論、関連領域の知識・技術、高い倫理観を基盤として、エビデンスに基づく高度な看護実践ができる能力を有している。
2. 地域社会や生活環境の中で、人々が自立して健康生活を営むことができるように、地域の人々と協働して、健康を促進する地域文化の形成・発展に貢献できる能力を有している。
3. 社会のニーズや健康に関する課題に積極的に関与し、他の職種の専門性を尊重した上で協働しながら社会状況に対応する方略を開発する能力を有している。
4. 学際的視点をふまえて看護実践の場、教育や政策の場で看護現象を研究的視点でとらえ、論理的思考力、リーダーシップとマネジメント力を発揮して変革者として貢献できる能力を有している。
5. 看護実践を支える科学的・哲学的基盤を理解し、看護研究を通して、看護学の体系化とその発展に貢献できる教育・研究能力を有している。
6. 国際的動向や多様な文化に関する幅広い知識や最新の情報を備えて、看護をグローバルな視点から捉え、看護の普遍性の追求と体系化に貢献できる能力を有している。

○看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）

博士後期課程は、看護学の学術的基盤を発展させるために看護学に関する学術と研究を国際的・学際的に推進し、その深奥を究め、創造的に自立して研究活動を行う高度な専門的能力を養うことを目的とする。

1. 看護の学識者としての責務を果たし、看護学の発展の基盤となる普遍性を有する看護哲学を追求し続ける能力を有している。
2. 看護学の学術的な基盤を発展させるために、グローバルスタンダードで看護学の知識や技術を研究開発し、看護学にイノベーションをもたらす能力を有している。
3. 最新の看護学の知識や技術、看護関連分野の知見等を活用し、倫理的・文化的基盤を持って人や社会に貢献するケアの開発に取り組み、人々の安心な生活の実現や QOL の向上を推進していくことのできる能力を有している。
4. 看護学を発展させ新たな知見を創生する研究活動を行い、社会に向けて提言できる能力を有している。
5. 国内外の専門職と連携して、政策開発や意思決定に参加し、健康医療福祉システムの構築や変革をもたらす能力を有している。
6. 科学的・学際的な基盤を持って人々の健康生活や健康文化を創造することに寄与する、次世代の高度実践看護者を養成する高等教育を担う能力を有している。

○看護学研究科共同災害看護学専攻（博士課程）

修了要件は、履修単位を50単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けて、博士論文の審査及び最終試験に合格することを定めています。審査においては、本課程の教育目的に対応した能力について総合的に評価を行い、修了要件を満たす者に博士(看護学)とし、(DNGL:Disaster Nursing Global Leader)を付記した、学位を授与します。

○人間の安全保障を理念として、いかなる災害状況でも「その人らしく健康に生きる」ことを支援することができる能力を有している。

○災害サイクル諸局面において「健康に生きるための政策提案」に取り組むことができる能力を有している。

- グローバルな視点から安全安心社会の実現に向けて、産学官との連携を築き、制度やシステムを変革できる能力を有している。
- 学際的な視点、国際的な視点から災害看護学を構築し、災害看護学を研究開発できる能力を有している。

人間生活学研究科の理念

地域に生きる人々の生活の文化的発展と健康で快適な生活環境の実現を目指し、人間生活学を基盤とした教育・研究を行うことにより、総合的な視野に立って、地域社会の生活課題を解決・調整する高度専門職業人を育成する。

○人間生活学研究科人間生活学専攻（博士前期課程）

博士前期課程では、地域社会の生活課題を解決・調整することのできる高度専門職業人としての能力を養成することを目的とする。

1. 共通ディプロマ・ポリシー

- 1) 専攻領域における研究遂行にとって必要とされる学術的知識を有している。(知識・理解)
- 2) 専攻領域以外の領域にわたる幅広く深い学術的学識を有している。(知識・理解)
- 3) 地域社会の特性を踏まえて追究すべき研究課題を発見することができる。(汎用的技能)
- 4) 地域社会をシステムとして捉えた研究を実践することができる。(汎用的技能)
- 5) 設定した研究課題を科学的視点で捉え、結論を導出することができる。(汎用的技能)
- 6) 研究を通じて得られた知見や技術を口頭または論文の形で共有化することができる。(汎用的技能)
- 7) 対象とする研究課題を自律的に遂行することができる。(態度・志向性)
- 8) 学問の体系化への貢献とあわせて実践的研究を志向し、得られた成果を地域社会に還元することができる。(態度・志向性)
- 9) 研究倫理についての確に理解・遵守し学術研究活動を行うことができる。(態度・志向性)

2. 領域(学位名称)別ディプロマ・ポリシー

(1) 栄養・生活学領域 <修士(生活科学)>

- 1) 生活・栄養の分野における専門的な知識を人間の生活に関して焦点化することができる。(創造的思考力・表現力)
- 2) 地域における生活・栄養分野の課題を複雑系科学の視点で捉えるとともに、課題解決のための具体的な方策を検証することができる。(創造的思考力・表現力)

(2) 社会福祉学領域 <修士(社会福祉学)>

- 1) 社会福祉の分野における専門的な知識と技術を人間の生活に関して焦点化することができる。(創造的思考力・表現力)
- 2) 地域における福祉分野の課題を科学的視点で捉えるとともに、ミクロ・メゾあるいはマクロの観点から課題解決のための具体的な方策を検証することができる。(創造的思考力・表現力)

(3) 文化学領域 <修士(学術)>

- 1) 文化研究における専門的な知識と技術を、人間の生活に関して焦点化することができる。(創造的思考力・表現力)
- 2) 設定した研究課題を人文科学的方法論または社会科学的方法論に則り検証することができる。(創造的思考力・表現力)

○人間生活学研究科人間生活学専攻（博士後期課程）

博士後期課程は、博士前期課程において修得した知識及び技術を基盤とし、自立して継続的な研究活動を遂行できる高度専門職業人としての能力及び高等教育の発展に寄与する教育研究者としての能力を涵養することを目的とする

1. 共通ディプロマ・ポリシー

- 1) 研究分野に関する国内外の動向を俯瞰的に把握し、自己の研究の位置づけを明確にすることができる。(知識・理解)(汎用的技能)
- 2) 既存の知識や技術の応用に新たな視点を加え、知の創造に繋げることができる。(知識・理解)(汎用的技能)
- 3) 人間生活に変革をもたらす政策開発ならびに意思決定への参画に繋がる研究を行うことができる。(知識・理解)(汎用的技能)
- 4) 自己の研究を自立して展開していく態度と能力を有している。(態度・志向性)
- 5) 研究倫理に則り研究を完遂できる態度と能力を有している。(態度・志向性)

2. 領域(学位名称)別ディプロマ・ポリシー

(1) 栄養・生活学領域 <博士(生活科学)>

- 1) 栄養・生活の分野にかかわる課題の中から研究テーマを設定・遂行し、当該分野の発展に寄与する成果を得ることができる。(創造的思考力)(表現力)
- 2) 栄養・生活の分野における研究の発展に寄与できるよう、新たな知見を学会ならびに専門誌等で研究成果を公表する能力を有すると同時に、社会に向けて提言できる能力を有している。(創造的思考力)(表現力)
- 3) 高等教育機関における教授者として次世代の栄養・生活の分野にかかわる専門職教育を担う資質を有している。(態度・志向性)

(2) 社会福祉学領域 <博士(社会福祉学)>

- 1) 社会福祉の分野にかかわる課題の中から研究テーマを設定・遂行し、当該分野の発展に寄与する成果を得ることができる。(創造的思考力)(表現力)
- 2) 社会福祉の分野における研究の発展に寄与できるよう、新たな知見を学会ならびに専門誌等で研究成果を公表する能力を有すると同時に、社会に向けて提言できる能力を有している。(創造的思考力)(表現力)
- 3) 高等教育機関における教授者として次世代の社会福祉の分野にかかわる専門職教育を担う資質を有している。(態度・志向性)

(3) 文化学領域 <博士(学術)>

- 1) 文化の分野にかかわる課題の中から研究テーマを設定・遂行し、当該分野の発展に寄与する成果を得ることができる。(創造的思考力)(表現力)
- 2) 文化の分野における研究の発展に寄与できるよう、新たな知見を学会ならびに専門誌等で研究成果を公表する能力を有すると同時に、社会に向けて提言できる能力を有している。(創造的思考力)(表現力)
- 3) 高等教育機関における教授者として次世代の文化の分野にかかわる専門職教育を担う資質を有している。(態度・志向性)

2 共通教養教育科目及び受講者の状況

(1) 共通教養教育科目

【学部】

リテラシー科目

○文化学部 文化学科

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
英語コミュニケーション I A	未開講	英語コミュニケーション II 応用エッセーライティング	26
英語コミュニケーション I B	未開講	情報処理概論	116
英語コミュニケーション I C	275	情報リテラシー	64
英語コミュニケーション I D	269	コンピュータリテラシー	156
英語コミュニケーション II 基礎プレゼンテーション	55	ビジネスリテラシー	31
英語コミュニケーション II 応用プレゼンテーション	30	日本語表現法	未開講
英語コミュニケーション II 基礎エッセーライティング	57		

○看護学部 看護学科

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
英語コミュニケーション I A	未開講	英語コミュニケーション II 応用エッセーライティング	0
英語コミュニケーション I B	未開講	情報処理概論	27
英語コミュニケーション I C	150	情報リテラシー	1
英語コミュニケーション I D	134	コンピュータリテラシー	53
英語コミュニケーション II 基礎プレゼンテーション	13	ビジネスリテラシー	0
英語コミュニケーション II 応用プレゼンテーション	1	日本語表現法	未開講
英語コミュニケーション II 基礎エッセーライティング	12		

○社会福祉学部 社会福祉学科

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
英語コミュニケーション I A	未開講	英語コミュニケーション II 応用エッセーライティング	0
英語コミュニケーション I B	未開講	情報処理概論	0
英語コミュニケーション I C	141	情報リテラシー	0
英語コミュニケーション I D	142	コンピュータリテラシー	75
英語コミュニケーション II 基礎プレゼンテーション	4	ビジネスリテラシー	0
英語コミュニケーション II 応用プレゼンテーション	0	日本語表現法	未開講
英語コミュニケーション II 基礎エッセーライティング	3		

○健康栄養学部 健康栄養学科

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
英語コミュニケーション I A	未開講	英語コミュニケーション II 応用エッセーライティング	0
英語コミュニケーション I B	未開講	情報処理概論	27
英語コミュニケーション I C	83	情報リテラシー	24
英語コミュニケーション I D	80	コンピュータリテラシー	43
英語コミュニケーション II 基礎プレゼンテーション	3	ビジネスリテラシー	0
英語コミュニケーション II 応用プレゼンテーション	1	日本語表現法	未開講
英語コミュニケーション II 基礎エッセーライティング	2		

教養基礎科目

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
科学と人間	50	法学	131
基礎化学	33	政治学	42
基礎生物学	228	経済学	45
物理と自然法則	40	倫理学	129
地球の科学	15	哲学	206
数学入門	10	文学	36
基礎統計学	26	基礎ジェンダー学	119
社会調査基礎論	16	心理学	114
日本国憲法	163		

課題別教養科目

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
生活と社会福祉	83	ジェンダーとキャリア	未開講
現代生活論	75	労働と人権	15
環境と健康と安全	12	地域とグローバリゼーション	未開講
自然災害と防災の科学	120	家族関係論	85
平和論	未開講	地域メディア論	202
現代人権論	32	異文化理解海外フィールドワーク	9

健康・スポーツ科目

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
健康スポーツ科学Ⅰ	287	健康とヘルスプロモーション	12
健康スポーツ科学Ⅱ	240	栄養と健康	37
対人関係とメンタルヘルス	184		

域学共生科目

(単位:人)

授業科目	受講者数	授業科目	受講者数
地域学概論	359	専門職連携論	35
土佐の歴史と文化	25	チーム形成論	0
土佐の経済とまちづくり	54	地域学実習Ⅰ	329
土佐の自然と暮らし	132	地域学実習Ⅱ	387
土佐の食と健康	186	域学共生実習	12

(2) 専門教育科目

【学 部】

○文化学部 文化学科

(その1)

(単位:人)

授 業 科 目		受講者数	授 業 科 目		受講者数		
文化学部共通科目	リテラシー科目	基礎演習	162	国際文化領域	比較日本文学Ⅰ(～2018)	73	
		中国語基礎Ⅰ	85		比較日本文学Ⅱ(～2018)	未開講	
		中国語基礎Ⅱ	82		比較日本文学	未開講	
		ドイツ語基礎Ⅰ	18		国際関係論	82	
		ドイツ語基礎Ⅱ	16		国際開発論	68	
		フランス語基礎Ⅰ	41		国際文化専門演習Ⅰ	32	
		フランス語基礎Ⅱ	41		国際文化専門演習Ⅱ	31	
		日本語Ⅰ	5		日本語学領域	日本語史	82
		日本語Ⅱ	5			日本語音声学・音韻論	84
		情報処理演習	161			日本語学講読	80
		文献調査論	155			日本語文章構成論	82
		基礎読書法	101			国語教育学講読Ⅰ	64
	エッセンシャル科目	文化哲学	200	国語教育学講読Ⅱ		15	
		文化人類学	194	日本語教育学概論		37	
		文化と権利	95	日本語教育教材論		15	
		文化と裁判	50	日本語学専門演習Ⅰ		36	
		公共哲学	98	日本語学専門演習Ⅱ		33	
		民俗学	80	日本文学領域	基礎古典	83	
		文化と経済	112		日本文学史(古典)	34	
		日本文学概論	164		日本文学史(近代)	34	
		言語学概論	188		古典文学基礎講読Ⅰ	33	
		日本語学概論	163		古典文学基礎講読Ⅱ	28	
		グローバルスタディー(～2018)	38		古典文学講読Ⅰ	46	
		グローバル平和論	145		古典文学講読Ⅱ	38	
		異文化コミュニケーション(～2018)	31		近代文学講読	84	
		社会調査論	59		現代文学講読	82	
		域学共生フィールドワーク	8		中国文学史	50	
		文化学課題研究ゼミナールⅠ	144	中国文学講読(散文)	40		
		文化学課題研究ゼミナールⅡ	146	中国文学講読(韻文)	36		
		文化学課題研究ゼミナールⅢ	145	日本文学専門演習Ⅰ	33		
	文化学課題研究ゼミナールⅣ	153	日本文学専門演習Ⅱ	35			
	キャリア形成科目	キャリアデザイン論	140	書道	49		
		キャリア形成論	122	地域文化領域	地域文化論	77	
企業実習		57	日本思想史		15		
文化学部専門科目	英語学領域	英語学概論	60		日本文化論	95	
		比較言語研究	28		土佐地域文化資源論(歴史)(～2018)	50	
		対照言語学	19		土佐地域文化資源論(方言)(～2018)	95	
		言語教育実践論Ⅰ	8		地域文化資源論Ⅰ	55	
		言語教育実践論Ⅱ	7		地域文化資源論Ⅱ	未開講	
		英語文法論	76		文化政策論	92	
		英語ライティングⅠ	20		男女共同参画社会論	39	
		英語ライティングⅡ	14		地域防災論	110	
		英語音声学	65	住文化論	98		
		英語スピーキングⅠ	16	地域文化専門演習Ⅰ	17		
	英語スピーキングⅡ	14	地域文化専門演習Ⅱ	18			
	英語学専門演習Ⅰ	29	地域づくり領域	地域づくり論	108		
	英語学専門演習Ⅱ	31		地域産業論	23		
	国際文化領域	英文化・文学史		62	地域分析論	124	
		英文化・文学論		29	地方自治論	86	
		米文化・文学史		52	NPO論	47	
		米文化・文学論		39	地域づくりフィールドスタディⅠ(～2018)	67	
		異文化理解Ⅰ		未開講	地域づくりフィールドスタディⅡ(～2018)	41	
異文化理解Ⅱ		未開講		地域づくりフィールドスタディ	未開講		
異文化理解Ⅲ		未開講		地域づくり専門演習Ⅰ	16		
国際日本文学Ⅰ(～2018)		6		地域づくり専門演習Ⅱ	18		
国際日本文学Ⅱ(～2018)	19						
国際日本文学	未開講						

(その2)

(単位:人)

授業科目			受講者数	授業科目			受講者数	
文化学部専門科目	地域文化創造系	観光文化系	観光文化論Ⅰ	79	文化学部専門科目	現代法文化領域	文化と人権	未開講
			観光文化論Ⅱ	38			文化と統治システム	142
			景観文化論	130			行政と法文化(～2018)	未開講
			観光と自然環境Ⅰ(～2018)	118			現代法思想論(～2018)	未開講
			観光と自然環境Ⅱ(～2018)	104			社会秩序と法	36
			観光と自然環境	未開講			犯罪と法	未開講
			観光文化フィールドスタディⅠ	46			情報化社会と法文化	63
		観光文化フィールドスタディⅡ	20	地域社会と法文化		114		
		観光フィールド専門演習Ⅰ	37	生命倫理と法(～2018)		未開講		
		観光フィールド専門演習Ⅱ	37	平和構築論(～2018)		未開講		
		観光まちづくり領域	観光学総論	42		現代法文化専門演習Ⅰ	3	
			観光まちづくり論Ⅰ	48		現代法文化専門演習Ⅱ	8	
			観光まちづくり論Ⅱ	未開講		生活法文化領域	生活と法文化	86
			観光産業論(～2018)	81			文化と人権(～2018)	157
	観光産業論Ⅰ		未開講	災害と法	103			
	観光産業論Ⅱ		未開講	ワーク・ライフ・バランスと法	51			
	観光企画論		137	労働契約と法文化	85			
	観光まちづくりフィールドスタディⅠ		13	社会保障と法文化	56			
	観光まちづくりフィールドスタディⅡ		36	家族関係と法文化	17			
	観光産業専門演習(～2018)		39	生活法文化専門演習Ⅰ	2			
	観光企画専門演習(～2018)	37	生活法文化専門演習Ⅱ	8				
	観光まちづくり専門演習Ⅰ	未開講						
	観光まちづくり専門演習Ⅱ	未開講						

○文化学部 文化学科(旧カリキュラム(～2014))

授業科目		受講者数
	卒業研究	2

○看護学部 看護学科

(その1)

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数		
専門基礎科目	医学の世界	81	看護基礎科目	看護援助学	治療援助論Ⅱ	83	
	人体の構造Ⅰ	81		看護援助学	症状と看護	85	
	人体の構造Ⅱ	81		看護援助学	看護援助の動向と課題	2	
	人体の機能Ⅰ	80		看護援助学	ふれあい看護実習	82	
	人体の機能Ⅱ	81		看護援助学	看護基盤実習	82	
	人体のしくみの乱れⅠ	84		看護管理学	看護管理学	看護システム論	82
	人体のしくみの乱れⅡ	83			看護管理学	看護サービス論	82
	心のしくみ	81			看護管理学	看護教育論	未開講
	病態と治療Ⅰ	83			看護管理学	看護管理の動向と課題	未開講
	病態と治療Ⅱ	83			看護管理学	看護管理実習	82
	診断学	83	看護臨床科目		急性期看護学	急性期看護論	83
	微生物学	82			急性期看護学	急性期看護援助論	82
	栄養学	81			急性期看護学	回復期看護援助論	83
	生化学	80			急性期看護学	急性期看護の動向と課題	8
	薬理学	83			急性期看護学	急性期看護実習	82
	治療学総論	83		老人看護学	慢性期看護学	慢性期看護論	83
	小児と疾患	82			慢性期看護学	慢性期看護援助論	82
	母性学	83			慢性期看護学	終末期看護援助論	82
	保健統計学	82			慢性期看護学	慢性期看護の動向と課題	2
	疫学	82			慢性期看護学	慢性期看護実習	82
	健康管理論	82	看護学	老人看護学総論	老人看護学総論	81	
	地域保健政策	82		老人看護学	老人の健康と看護	83	
	生命の科学と倫理	61		老人看護学	老人看護援助論	83	
	医療史	4		老人看護学	老人看護の動向と課題	未開講	
	社会保障と看護	10		精神看護学	精神看護学総論	精神看護学総論	83
	心理学理論と心理的支援	3			精神看護学	精神の健康と看護	83
	行動科学	16			精神看護学	精神看護援助論	82
	保健行動論	13			精神看護学	精神看護の動向と課題	3
人間工学	3	精神看護学			精神看護実習	82	
公衆衛生学	81	小児看護学		小児看護学総論	小児看護学総論	83	
在宅医療	20		小児看護学	小児の健康と看護	82		
医療と経営	10		小児看護学	小児看護援助論	82		
助産学	10		小児看護学	小児看護の動向と課題	12		
助産診断論	10		小児看護学	小児看護実習	82		
看護基礎科目	基礎看護学	看護学総論	81	母性看護学	母性看護学総論	83	
		健康と看護	81		母性看護学	母性看護対象論	83
		環境と看護	81		母性看護学	母性看護援助論	82
		人間と看護	81		母性看護学	母性看護の動向と課題	2
		看護研究方法論	82		母性看護学	母性看護実習	82
		看護哲学と倫理	82		助産看護学	助産看護学総論	助産看護学総論
		看護援助学	生活と看護	81		助産看護学	助産看護診断論
	生活援助論Ⅰ		81	助産看護学		助産技術論Ⅰ	8
	生活援助論Ⅱ		81	助産看護学		助産技術論Ⅱ	7
	生活援助論Ⅲ		83	助産看護学		助産看護援助論	7
	看護過程論		83	助産看護学		助産看護管理論	7
	援助関係論		81	助産看護学		助産看護の動向と課題	7
	フィジカルアセスメントⅠ		81	助産看護学		助産看護実習Ⅰ	7
	フィジカルアセスメントⅡ	82	助産看護学	助産看護実習Ⅱ	7		
治療援助論Ⅰ	83						

(その2)

(単位:人)

		授 業 科 目		授 業 科 目		
		受講者数		受講者数		
看 護 臨 床 科 目	在 宅 看 護 学	在宅看護学総論	84	総 合 科 目	看護セミナーⅠ	60
		在宅看護対象論	82		看護セミナーⅡ	22
		在宅看護援助論	82		看護セミナーⅢ	31
		在宅看護リエゾン論	39		看護セミナーⅣ	未開講
		在宅看護の動向と課題	9		看護セミナーⅤ	81
		在宅看護実習	82		看護セミナーⅥ	81
	地 域 看 護 学	地域看護学総論	82		臨床看護論Ⅰ	2
		地域の健康と看護	82		臨床看護論Ⅱ	2
		地域看護援助論	82		臨床看護論Ⅲ	40
		地域看護の動向と課題	6		臨床看護論Ⅳ	2
	保 学 健 校	学校保健	16		臨床看護論Ⅴ	15
		養護概説	17		臨床看護論Ⅵ	27
	総 合 科 目	看護研究	82		母性・助産看護実践論	7
		看護と政策	82		精神看護実践論	未開講
がん看護論		83	急性期看護実践論	24		
総合看護実習		82	慢性期看護実践論	未開講		
看護実践能力開発実習		82	小児看護実践論	10		
バイオロジカルナーシング		4	地域看護実践論	4		
治療と看護		未開講	老人看護実践論	2		
災害と看護Ⅰ		63	臨床看護実践論	未開講		
災害と看護Ⅱ		14	医学と看護の統合	81		
看護と文化Ⅰ		80	最新実践看護講座Ⅰ	13		
看護と文化Ⅱ		2	最新実践看護講座Ⅱ	25		
グローバルヘルス		1				
看護学の動向と課題		53				

○社会福祉学部 社会福祉学科

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数
基本科目	福祉対象入門	75	実相談援助科目	事例研究法	10
	福祉援助入門	75		実践記録法	13
	社会福祉入門演習	75		チームアプローチ	13
	社会福祉基礎演習	75		スーパービジョン	9
	心理学理論と心理的支援	76			
	社会理論と社会システム	76	地域・国際福祉科目	地域福祉論Ⅰ	74
	現代社会と福祉Ⅰ	75		地域福祉論Ⅱ	74
	現代社会と福祉Ⅱ	75		地域福祉活動	1
	社会福祉史	74		国際福祉論	14
	介護技術	16		コミュニティソーシャルワーク	11
		福祉NPO論		29	
		子育て支援論		14	
		虐待防止論	38		
社会福祉制度科目	社会保障論Ⅰ	75	社会支援科目	ケアマネジメント論	22
	社会保障論Ⅱ	75		ケアマネジメント演習	20
	公的扶助論	74		ケアプラン策定法	22
	障害者福祉論	74		就労支援サービス	70
	児童・家庭福祉論	74	精神保健福祉実践科目	精神科リハビリテーション学	34
	高齢者福祉論Ⅰ	75		精神保健福祉援助演習	18
	高齢者福祉論Ⅱ	75		精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	22
	精神保健福祉論Ⅰ	37		精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	18
	精神保健福祉論Ⅱ	30		精神保健福祉援助実習Ⅰ	18
	福祉行財政と福祉計画	75		精神保健福祉援助実習Ⅱ	18
	福祉サービスの組織と経営	71			
	権利擁護論	72			
	更生保護制度	66			
	保健医療サービス	75			
女性福祉論	32				
医療福祉論	36				
からだとかころの理解科目	人体の構造と機能及び疾病	77	介護福祉理解科目	介護の基本Ⅰ	17
	精神医学Ⅰ	31		介護の基本Ⅱ	23
	精神医学Ⅱ	31		介護の基本Ⅲ	17
	精神保健学Ⅰ	33		コミュニケーション技術	17
	精神保健学Ⅱ	29		生活支援技術Ⅰ	17
	発達と老化の理解Ⅰ	34		生活支援技術Ⅱ	17
	発達と老化の理解Ⅱ	36		生活支援技術Ⅲ	23
	認知症の理解Ⅰ	36		生活支援技術Ⅳ	23
	認知症の理解Ⅱ	31		生活支援技術Ⅴ	17
	障害の理解Ⅰ	21		介護過程Ⅰ	17
	障害の理解Ⅱ	23	介護過程Ⅱ	23	
	こころとからだのしくみⅠ	21	介護過程Ⅲ	23	
	こころとからだのしくみⅡ	20	介護過程Ⅳ	17	
相談援助基礎科目	相談援助の基盤と専門職	77	介護福祉実践科目	介護総合演習Ⅰ	17
	相談援助の理論と方法Ⅰ	75		介護総合演習Ⅱ	23
	相談援助の理論と方法Ⅱ	75		介護総合演習Ⅲ	17
	相談援助の理論と方法Ⅲ	75		介護総合演習Ⅳ	12
	相談援助と理論と方法Ⅳ	74		介護実習Ⅰ	17
	精神保健福祉援助技術総論	41		介護実習Ⅱ	23
	精神保健福祉援助技術各論	33		介護実習Ⅲ	17
	面接技法	49		医療的ケアⅠ	17
	医療ソーシャルワーク論	46	医療的ケアⅡ	12	
相談援助実践科目	相談援助演習Ⅰ	74	総合科目	福祉研究法入門	74
	相談援助演習Ⅱ	73		社会調査の基礎	75
	相談援助演習Ⅲ	73		社会福祉専門演習Ⅰ	71
	相談援助演習Ⅳ	70		社会福祉専門演習Ⅱ	72
	相談援助実習指導Ⅰ	73		社会福祉専門演習Ⅲ	74
	相談援助実習指導Ⅱ	73		社会福祉専門演習Ⅳ	75
	相談援助実習指導Ⅲ	70			
	相談援助実習	70			

○健康栄養学部 健康栄養学科

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数	
科基礎	健康栄養学基礎	43	栄養教育論	栄養教育論Ⅰ	44	
	健康栄養学応用	47		栄養教育論Ⅱ	40	
社会・環境と健康	地域健康論	40		栄養教育論Ⅲ	40	
	介護論	40		栄養教育論実習Ⅰ	40	
	食と介護	40		栄養教育論実習Ⅱ	40	
	保健医療福祉論	40		学校栄養指導論Ⅰ	10	
	地域医療論	24		学校栄養指導論Ⅱ	10	
	公衆衛生学	40		臨床栄養学	臨床栄養学Ⅰ	44
	環境衛生学実習	40			臨床栄養学Ⅱ	40
	健康情報論実習	43			臨床栄養学Ⅲ	40
		臨床実践栄養学	40			
		臨床栄養学実習Ⅰ	40			
		臨床栄養学実習Ⅱ	40			
人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学Ⅰ	43	栄養学 公衆	公衆栄養学Ⅰ	44	
	生化学Ⅱ	43		公衆栄養学Ⅱ	41	
	生化学実験	44		地域公衆栄養学実習	40	
	人体の構造と機能Ⅰ	43	給食経営管理論	給食経営管理論	44	
	人体の構造と機能Ⅱ	45		給食計画論	44	
	臨床医科学	29		給食経営管理実習Ⅰ	40	
	疾病論Ⅰ	44		給食経営管理実習Ⅱ	40	
	疾病論Ⅱ	44	演習 総合	管理栄養士総合演習Ⅰ	40	
	運動生理学	44		管理栄養士総合演習Ⅱ	41	
	生体科学実験・実習	44	臨地実習	給食経営管理臨地実習	40	
食べ物と健康	食品学	43		臨床栄養学臨地実習Ⅰ	40	
	食品学実験Ⅰ	44		臨床栄養学臨地実習Ⅱ	40	
	食品学実験Ⅱ	44		地域公衆栄養学臨地実習	40	
	食材学	44		地域実践栄養学臨地実習	14	
	食品の栄養素と機能	44		その他	企業実習	未開講
	食品衛生学	44	研 究 題		卒業研究	41
	食品衛生学実験	44				
	フードシステム学	11				
	調理学	43				
	調理学実習Ⅰ	43				
	調理学実習Ⅱ	43				
	調理学実習Ⅲ	32				
	調理科学実験	7				
栄養基礎	基礎栄養学	46				
	基礎栄養学実験	44				
栄養学 応用	応用栄養学Ⅰ	44				
	応用栄養学Ⅱ	44				
	応用栄養学実習	44				
	ライフステージ栄養学	44				

【 大学院 】

○看護学研究科看護学専攻（博士前期課程）

(その1)

(単位:人)

		授 業 科 目	受講者数			授 業 科 目	受講者数	
共 通 科 目	大 学 院 共 通 科 目	研究と倫理	3	ク リ テ ィ カ ル ケ ア 看 護 学 領 域		クリティカルケア看護論Ⅰ	1	
		教育学特論	1			クリティカルケア看護論Ⅱ	1	
		教育心理学特論	未開講			クリティカルケア看護方法論Ⅰ	1	
		ジェンダー論	2			クリティカルケア看護方法論Ⅱ	3	
		臨床倫理	4			クリティカルケア看護方法論Ⅲ	1	
		グローバルヘルス論	0			クリティカルケア看護方法論Ⅳ	3	
		ケア論	3			クリティカルケア診断治療学Ⅰ	4	
		看護マネジメント論	4			クリティカルケア診断治療学Ⅱ	未開講	
						クリティカルケア看護課題研究	3	
	専 攻 共 通 科 目		看護理論と実践	12	小 児 看 護 学 領 域		クリティカルケア看護学実践演習Ⅰ	1
			看護学基盤論	4			クリティカルケア看護学実践演習Ⅱ	3
			看護研究と実践	12			クリティカルケア看護学実践演習Ⅲ	3
			看護理論と研究Ⅰ	2			クリティカルケア看護学実践演習Ⅳ	1
			看護理論と研究Ⅱ	3			クリティカルケア看護学実践演習Ⅴ	3
			看護倫理	12			小児看護論	1
			看護サービス管理論	11			小児看護対象論	1
			看護コンサルテーション論	11			小児看護方法論Ⅰ	1
			フィジカルアセスメント特論	10			小児看護方法論Ⅱ	0
			病態生理学	10			小児診断治療学Ⅰ	未開講
			臨床薬理学	10			小児診断治療学Ⅱ	1
			こころの発達	2			小児看護課題研究	0
			看護教育論Ⅰ	8			小児看護学実践演習Ⅰ	1
			看護教育論Ⅱ	13			小児看護学実践演習Ⅱ	0
			看護教育学専門演習	1			小児看護学実践演習Ⅲ	0
			看護教育学研究方法Ⅰ	0			小児看護学実践演習Ⅳ	1
			看護教育学研究方法Ⅱ	0			小児看護学実践演習Ⅴ	0
			データ分析方法論	12			小児看護学研究方法Ⅰ	0
			疫学研究方法論	3			小児看護学研究方法Ⅱ	0
			保健医療政策と経済Ⅰ	9			精神看護論	1
			保健医療政策と経済Ⅱ	12			精神看護対象論	1
			看護学の動向と展望	11			精神看護方法論Ⅰ	1
			最新専門看護実践講座Ⅰ	0			精神看護方法論Ⅱ	1
			最新専門看護実践講座Ⅱ	4			精神看護展開論Ⅰ	0
インディペンデントスタディ	1	精神看護展開論Ⅱ	0					
領 域 専 門 科 目	が ん 看 護 学 領 域	がん看護論	2	精 神 看 護 学 領 域		精神看護展開論Ⅲ	1	
		緩和ケア特論	2			精神看護展開論Ⅳ	0	
		がん看護方法論Ⅰ	2			精神診断治療学Ⅰ	2	
		がん看護方法論Ⅱ	2			精神診断治療学Ⅱ	未開講	
		がん看護方法論Ⅲ	2			精神看護課題研究	1	
		がん病態生理学	2			精神看護学実践演習Ⅰ	1	
		がん診断治療学	未開講			精神看護学実践演習Ⅱ	1	
		がん薬理学	4			精神看護学実践演習Ⅲ	1	
		がん看護課題研究	1			精神看護学実践演習Ⅳ	1	
		がん看護学実践演習Ⅰ	1			精神看護学実践演習Ⅴ	1	
		がん看護学実践演習Ⅱ	2			家族看護論	0	
		がん看護学実践演習Ⅲ	2			家族看護対象論	未開講	
		がん看護学実践演習Ⅳ	2			家族看護方法論Ⅰ	12	
		がん看護学実践演習Ⅴ	2			家族看護方法論Ⅱ	10	
		成人看護学研究方法Ⅰ	0			家族看護実践論Ⅰ	1	
	成人看護学研究方法Ⅱ	0	家族看護実践論Ⅱ	1				
	慢 性 看 護 学 領 域		慢性看護論	1	家 族 看 護 学 領 域		家族療法	未開講
			慢性看護対象論	1			家族ケアの開発	2
			慢性看護方法論Ⅰ	1			家族看護課題研究	2
			慢性看護方法論Ⅱ	0			家族看護学実践演習Ⅰ	0
			慢性疾患診断治療学Ⅰ	未開講			家族看護学実践演習Ⅱ	0
			慢性疾患診断治療学Ⅱ	1			家族看護学実践演習Ⅲ	2
			慢性看護課題研究	0			家族看護学実践演習Ⅳ	2
			慢性看護学実践演習Ⅰ	1			家族看護学実践演習Ⅴ	2
			慢性看護学実践演習Ⅱ	0			家族看護学研究方法Ⅰ	0
			慢性看護学実践演習Ⅲ	1			家族看護学研究方法Ⅱ	0
			慢性看護学実践演習Ⅳ	0				
			慢性看護学実践演習Ⅴ	0				
			成人看護学研究方法Ⅰ	0				
			成人看護学研究方法Ⅱ	0				

(その2)

(単位:人)

		授業科目		授業科目				
			受講者数		受講者数			
領域 専門科目	地域看護学領域	地域看護論	1	領域 専門科目	看護管理学領域	看護管理論	1	
		地域ケアシステム論	0			システム経営管理論	1	
		地域看護展開論	1			看護管理展開論	1	
		地域看護課題研究	0			看護管理の動向と展望	1	
		地域フィールド演習Ⅰ	0			看護管理課題研究	0	
		地域フィールド演習Ⅱ	1			看護管理学実践演習Ⅰ	0	
		地域看護学研究方法Ⅰ	1			看護管理学実践演習Ⅱ	0	
		地域看護学研究方法Ⅱ	1			看護管理学実践演習Ⅲ	0	
	在宅看護学領域	在宅看護論	2			臨床看護学領域	看護管理学研究方法Ⅰ	1
		在宅看護方法論Ⅰ	2				看護管理学研究方法Ⅱ	2
		在宅看護方法論Ⅱ	4		精神看護ケア研究		1	
		在宅看護方法論Ⅲ	0		老人看護ケア研究		2	
		在宅ケアシステム論	0		がん看護ケア研究		4	
		在宅看護展開論Ⅰ	2		小児看護ケア研究		1	
		在宅看護展開論Ⅱ	2		慢性看護ケア研究		1	
		在宅療養診断治療学Ⅰ	未開講		クリティカルケア研究		0	
		在宅療養診断治療学Ⅱ	2		臨床看護管理研究		3	
		在宅看護課題研究	0		臨床看護教育研究		3	
		在宅看護学実践演習Ⅰ	2		母性・助産看護ケア研究	0		
		在宅看護学実践演習Ⅱ	2		臨床看護学専門演習	2		
		在宅看護学実践演習Ⅲ	0	臨床看護学研究方法Ⅰ	1			
		在宅看護学実践演習Ⅳ	0	臨床看護学研究方法Ⅱ	0			
	在宅看護学実践演習Ⅴ	0	地域保健学領域	地域ケア研究	1			
	老人看護学領域	老人看護論		2	学校保健研究	1		
		老人看護対象論		2	家族ケア研究	2		
		老人看護方法論		0	在宅ケア研究	1		
		老人ケアシステム論		0	保健学研究	未開講		
		老人看護展開論Ⅰ		2	地域保健学専門演習	1		
		老人看護展開論Ⅱ	2	地域保健学研究方法Ⅰ	3			
		老年病診断治療学Ⅰ	0	地域保健学研究方法Ⅱ	2			
		老年病診断治療学Ⅱ	2					
		老人看護課題研究	0					
		老人看護学実践演習Ⅰ	2					
		老人看護学実践演習Ⅱ	2					
		老人看護学実践演習Ⅲ	0					
		老人看護学実践演習Ⅳ	0					
		老人看護学実践演習Ⅴ	0					

○看護学研究科看護学専攻（博士後期課程）

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数
専攻共通科目	理論看護学Ⅰ	3	専攻専門科目	精神看護学Ⅰ	0
	理論看護学Ⅱ	3		精神看護学Ⅱ	0
	看護学研究方法Ⅰ	4		家族看護学Ⅰ	0
	看護学研究方法Ⅱ	3		家族看護学Ⅱ	0
	看護倫理学	3		地域看護学Ⅰ	0
	イノベーション看護学	3		地域看護学Ⅱ	0
	国際看護学	3		在宅看護学Ⅰ	1
	医学研究方法論	0		在宅看護学Ⅱ	0
	インディペンデントスタディ	0		学校保健学Ⅰ	0
専攻専門科目	小児看護学Ⅰ	0	学校保健学Ⅱ	0	
	小児看護学Ⅱ	1	看護病態生理学Ⅰ	0	
	成人看護学Ⅰ	0	看護病態生理学Ⅱ	0	
	成人看護学Ⅱ	0	看護経営管理学Ⅰ	0	
	老人看護学Ⅰ	0	看護経営管理学Ⅱ	0	
	老人看護学Ⅱ	0	科指研究 目導究	看護学特別研究Ⅰ	4
	がん看護学Ⅰ	0		看護学特別研究Ⅱ	2
	がん看護学Ⅱ	0		看護学特別研究Ⅲ	4

○看護学研究科共同災害看護学専攻（博士課程）

(単位:人)

授業科目		受講者数	授業科目		受講者数
災害看護学の基盤を支える科目群	看護研究	2	イン デ ィ ペ ン デ ン ト 学 修 科 目 群	災害看護ゼミナールA	0
	理論看護学	1		災害看護ゼミナールB	10(3)
	危機管理論	未開講		災害看護ゼミナールC	2(1)
	環境防災学Ⅰ	未開講		災害看護ゼミナールD	3
	環境防災学Ⅱ	3(1)		災害看護ゼミナールE	0
	グローバルヘルス	4(2)		インディペンデントスタディⅠ	1(1)
	災害法制度と政策論	未開講		インディペンデントスタディⅡ	0
	専門職連携実践論	3		インディペンデントスタディⅢ	0
	災害時専門職連携演習(災害IP演習)	2		インディペンデントスタディⅣ	0
	災害医療学	未開講		インディペンデントスタディⅤ	0
	災害心理学	未開講	災害看護学 研究支援 科目群	災害看護研究ゼミナール	4
	災害と文化	3(1)		実践課題研究	7(2)
	災害社会福祉学	未開講		災害看護研究デベロップメント	10(3)
	Professional writing	4		博士論文	15(2)
	Proposal writing (Research proposal writing skill)	2		旧 カ リ キ ュ ラ ム 科 目	理論看護学Ⅱ
Program writing (Program Proposal writing skill)	未開講	看護倫理	0		
災害看護学の専門科目群	災害看護学総論	3(1)	保健学的・疫学的研究法		1
	災害看護活動論Ⅰ(急性期)	3(1)	看護研究方法論Ⅰ(国際比較研究)		0
	災害看護活動論Ⅱ(亜急性期)	4(1)	看護研究方法論Ⅱ(エスノグラフィ)		1
	災害看護活動論Ⅲ(復旧・復興)	5(2)	看護研究補法Ⅲ (ケーススタディ・アクションリサーチ)		1
	災害看護活動論Ⅳ(備え)	3(1)	看護研究方法論Ⅳ(グランデッドセオリー)		2(1)
	災害看護グローバルコーディネーション論	17(4)	看護研究方法論Ⅵ(介入研究・尺度開発含)		2
	災害看護リーダーシップ・管理論	4(2)	危機管理論		1
	災害看護倫理	未開講	グローバルヘルスと政策		5
	災害看護理論構築	10(3)	災害社会学	10(1)	
	インターンシップⅠ	1	災害看護倫理	10(3)	
インターンシップⅡ	15(3)	災害看護活動論演習Ⅰ	1(1)		
		災害看護活動論演習Ⅱ	1(1)		
		災害看護学実習Ⅰ	7(1)		

()内は本学学生数

○人間生活学研究科人間生活学専攻（博士前期課程）

(単位:人)

		授業科目	受講者数			授業科目	受講者数	
共通科目	大学院共通科目	研究と倫理	10	社会福祉学領域科目	福祉・高齢者・介護者	介護福祉論 I	未開講	
		教育学特論	2			介護福祉論 II	5	
		教育心理学特論	未開講			高齢者福祉論	未開講	
		ジェンダー論	5			障害者福祉論	4	
		臨床倫理	0		福祉・障害者	精神保健福祉論	未開講	
		グローバルヘルス論	0			精神科ソーシャルワーク論	3	
		ケア論	2			福祉・児童・家庭	児童・家庭福祉論 I	4
		看護マネジメント論	0				児童・家庭福祉論 II	5
	人間生活学研究科	人間生活学	研究方法論 I	8	文化学領域科目	人間総合文化	地域文化論 I	未開講
			研究方法論 II	8			地域文化論 II	0
研究方法論 III			3	地域文化論 III			4	
データ解析論			7	地域文化論 IV			未開講	
環境解析論			0	地域文化論 V			未開講	
地域スポーツ論			4	日本文化		日本文化論 I	1	
健康リハビリテーション論			未開講			日本文化論 II	未開講	
栄養・生活学領域科目	食物科学	食品生化学特論	未開講			日本文化論 III	0	
		食品製造学特論	4			日本文化論 IV	未開講	
		食物科学論	未開講			中国文化論	未開講	
		食物科学実践演習	3	英語文化	英語文化論	未開講		
人間栄養学	栄養学特論	3	英語言語文化論特論 I		0			
	臨床栄養学特論	未開講	英語言語文化論特論 II		未開講			
	健康動態論	1	国際日本学		未開講			
生活学・栄養学	生活学・栄養学	栄養疫学論	3	科指研究	栄養・生活学課題研究演習	1		
		栄養・生活特論 I	5		社会福祉学課題研究演習	5		
		栄養・生活特論 II	3		文化学課題研究演習	1		
		栄養・生活統計論	1	/				
環境生態論	未開講							
社会福祉学領域科目	福祉基礎	社会福祉原論	3					
		福祉リハビリテーション論	7					
		ソーシャルワーク論	9					
		社会保障論	未開講					
		福祉行財政論	2					
国際福祉	地域・国際福祉	地域福祉論 I	未開講					
		地域福祉論 II	9					
		国際福祉論 I	未開講					
		国際福祉論 II	1					

○人間生活学研究科人間生活学専攻（博士後期課程）

(単位:人)

		授業科目	受講者数			授業科目	受講者数		
科共目通		研究デザイン	0	専門科目	領域科目	地域文化学 I	0		
		研究倫理	0			地域文化学 II	0		
専門科目	領域科目	地球環境解析学	0	研究指導科目	文化学	言語文化学 I	0		
		環境生態学	0			言語文化学 II	0		
		居住環境学	0			栄養・生活学特別研究 I	0		
		人間栄養学	0			栄養・生活学特別研究 II	0		
		食品機能学	0			栄養・生活学特別研究 III	0		
		健康動態学	0			社会福祉学特別研究 I	0		
		介護福祉学	0			社会福祉学特別研究 II	0		
	社会福祉学	社会福祉学	障害者福祉学		0	社会福祉学特別研究 III	2		
			児童・家族福祉学		0	文化学特別研究 I	0		
			地域福祉学		0	文化学特別研究 II	0		
			国際福祉政策学		0	文化学特別研究 III	0		
			社会福祉計画論		0	/			

※「未開講」・・・隔年開講などにより年度当初から未開講科目であったもの
 ※「0」・・・年度当初開講予定科目で、院生がいらないなどの理由で開講されなかったもの

(3)教職に関する専門教育科目

(単位:人)

授 業 科 目		受講者数	授 業 科 目		受講者数
教職に関する専門教育科目	教師論	75	教職に関する専門教育科目	道徳教育論	56
	教育原理	29		特別活動論	37
	発達心理学	43		教育方法論	53
	教育心理学	27		生徒指導論	51
	教育社会学	36		教育相談論	58
	人権教育に関する科目	46		教育基礎理論	26
	教育課程論	37		教育カリキュラム開発論	16
	国語科教育法Ⅰ	15		教育実習Ⅰ	17
	国語科教育法Ⅱ	14		教育実習Ⅱ	17
	国語科教育法Ⅲ	9		養護実習	14
	国語科教育法Ⅳ	9		学校栄養教育実習	10
	英語科教育法Ⅰ	10		教職実践演習(中・高)	17
	英語科教育法Ⅱ	10		教職実践演習(養護)	14
	英語科教育法Ⅲ	8		教職実践演習(栄養)	10
英語科教育法Ⅳ	9				

3 教員免許状取得等及び国家資格取得の状況

(1) 教員免許状取得状況等(過去3年間分)

(単位:人)

学部・学科	区 分		平成29年度	平成30年度	平成31年度
文化学部 文化学科	免許状取得者数	実人数	16	23	16
		中一種免(英語)	10	11	9
		高一種免(英語)	10	11	9
		中一種免(国語)	6	12	7
		高一種免(国語)	6	12	7
	教員就職者数		11	12	10
看護学部 看護学科	免許状取得者数	実人数	16	11	14
		一種免(養護)	16	11	14
	教員就職者数		6	3	8
健康栄養学部 健康栄養学科	免許状取得者数	実人数	6	6	10
		中一種免(家庭)	4		
		高一種免(家庭)	4		
		一種免(栄養)	2	6	10
	教員就職者数		4	5	7
合 計	免許状取得者数(実人数)		38	40	40
	教員就職者数		21	20	25

※教員就職者数は正規採用者と臨時的任用者との合計

(2) 国家試験合格状況

(単位:人)

国家資格	受 験 日	区 分	受 験 者 数	合 格 者 数	合 格 率
保 健 師	令和2年2月14日	新 卒	75	73	97.3%
		既 卒	4	3	75.0%
看 護 師	令和2年2月16日	新 卒	82	82	100.0%
		既 卒	0	0	
助 産 師	令和2年2月13日	新 卒	7	7	100.0%
		既 卒	0	0	
社会福祉士	令和2年2月2日	新 卒	70	55	78.6%
		既 卒	27	4	14.8%
精神保健福祉士	令和2年2月1日	新 卒	16	15	93.8%
	令和2年2月2日	既 卒	1	1	100.0%
介護福祉士	令和2年1月26日	新 卒	12	12	100.0%
		既 卒	0	0	
管理栄養士	令和2年3月1日	新 卒	40	39	97.5%
		既 卒	2	0	0.0%

4 学位及び大学賞・学長賞等の授与状況

(1) 学位授与状況

○博士

(単位:人)

研究科名	博士	
	令和元年度	累計
看護学研究科(博士後期課程)	6	33
看護学研究科(博士課程)	2	3
人間生活学研究科(博士後期課程)	2	9
健康生活科学研究科健康生活科学専攻(博士後期課程)	0	50
合計	10	95

○修士

(単位:人)

研究科名	修士	
	令和元年度	累計
看護学研究科(博士前期課程)	11	273
人間生活学研究科(博士前期課程)	7	172
合計	18	445

【学位授与者一覧】

○博士

授与年月日	学位の種類	氏名	論文名
令和元年9月24日	博士(看護学)	高山 良子	がんサバイバーと家族員のパートナーシップ ―夫婦に焦点をあてて―
令和元年9月24日	博士(看護学)	田代 真理	がん患者のアドバンスケアプランニングへの看護支援と影響要因
令和元年9月24日	博士(社会福祉学)	宮崎 正宇	児童養護施設におけるリビングケアとアフターケアに関する研究 ―レジデンシャル・ソーシャルワークを中心として―
令和2年3月19日	博士(看護学)	野村 美紀	生活習慣病予防に焦点をあてた保健師のヘルスコーチングの構造
令和2年3月19日	博士(看護学)	青木 早苗	遺伝性乳がん卵巣がん症候群である乳がん女性のセルフ・トランセンデンス
令和2年3月19日	博士(看護学)	嶋岡 暢希	乳児期の子どもを育てる親のMasteryに関する研究
令和2年3月19日	博士(看護学)	土岐 弘美	軽度認知症の診断を受けた人のとらえる自己に関する研究
令和2年3月19日	博士(看護学)	HASTORO DWINANTOAJI	Analysis of Factors Influencing the Community Health Cadres' Participation in Flood Disaster Risk Reduction in Indonesia
令和2年3月19日	博士(看護学)	野島 真美	大規模交通事故(JR福知山線脱線事故)に遭遇した人々が生きてきた軌跡 ―健康・生活とケアに焦点をあてて―
令和2年3月19日	博士(社会福祉学)	野村 修	死生と看取りケアに関する介護職員の認識と実践の構造 ―ユニット型介護老人福祉施設のリーダー層介護職員を対象者として―

○修 士

授与年月日	学位の種類	氏 名	論 文 名
令和2年3月19日	修士(看護学)	岩田 明日香	胎児異常を告知された家族が告知から出産までの過程で形成する家族コミットメント
令和2年3月19日	修士(看護学)	馬屋原 健裕	集中治療室看護師のせん妄ケアにおける臨床判断
令和2年3月19日	修士(看護学)	江村 優	自殺未遂患者をケアする救急部門の看護師の構え
令和2年3月19日	修士(看護学)	岡野 直人	看護組織の安全マネジメントに関する研究 ー臨床における看護師のレジリエントな行動とそれに影響する要因ー
令和2年3月19日	修士(看護学)	北野 百合	生活困窮者における保健行動実践
令和2年3月19日	修士(看護学)	坂野 真美	救急外来に配置転換した救急看護師の成長
令和2年3月19日	修士(看護学)	田部 由佳	食物アレルギーをもつ学童期の子どものセルフケアエージェンシーを育む養護教諭の支援活動
令和2年3月19日	修士(看護学)	寺尾 香里	病棟看護管理システムのインテグレーション
令和2年3月19日	修士(看護学)	原 ちなみ	緊急で人工呼吸器を装着した患者のセルフケア
令和2年3月19日	修士(看護学)	松石 由美子	集中治療室で関わりが難しいと感じる家族に関わる看護師の体験
令和2年3月19日	修士(看護学)	松山 円	外来化学療法を継続して受ける再発・転移がん患者の心理的体験
令和2年3月19日	修士(学術)	大黒 久美子	婚姻における若衆の役割と村落構造との関連についての研究 ー宿毛市山奈町と室戸市佐喜浜町を事例としてー
令和2年3月19日	修士(社会福祉学)	安 東	生活習慣と生活環境の変化が認知症高齢者に及ぼす影響 ー施設入所後のリロケーションダメージに着目してー
令和2年3月19日	修士(社会福祉学)	倪 子婷	中山間地域における要介護高齢者への生活支援に関する研究 ー地域包括支援センターを拠点とした取り組みの検討をもとにー
令和2年3月19日	修士(社会福祉学)	高濱 恵	レジリエンス概念の研究 ーソーシャルワーク実践に向けてー
令和2年3月19日	修士(生活科学)	山中 遼平	自閉症スペクトラム障がい児の食に関する感覚応答が食行動における予測符号化に及ぼす影響
令和2年3月19日	修士(社会福祉学)	楊 天謀	日本と中国での少子化を軽減するための社会支援とは何か ー子育て支援について日中比較からー
令和2年3月19日	修士(社会福祉学)	和食 沙紀	歯科衛生士が気づく「気になる親子」の着目点 ー歯科診療所における子ども虐待の早期発見に向けてー

(2)大学賞・学長賞授与状況

【大学賞】

学部・研究科	学科・専攻	学年	受賞者数	功 績
看護学部	看護学科	4	1	入学時より一貫して高い目標を持ち、主体的に行動する力を発揮しながら学業に真摯に取り組んだ。物事を成し遂げる強い意志と責任感を持ち、看護実践、看護研究に取り組み、特に優秀な成績を修めた。
看護学研究科	看護学専攻 博士後期課程	5	1	研究に真摯に取り組み、アドバンスケアプランニングの看護学研究の深化・発展に寄与した。

【学長賞】

学 部	学 科	学年	受賞者数	功 績
文化学部	文化学科	4	2	第70回四国地区大学総合体育大会においてフットサルの部で優勝し、他のサークル活動の模範となる大変優秀な成績をおさめ、高知県立大学の存在を大きくアピールした。
		2	1	
看護学部	看護学科	4	2	
		3	5	
		2	1	
		1	1	
健康栄養学部	健康栄養学科	3	1	
		2	1	
		1	1	
文化学部	文化学科	4	3	
文化学部	文化学科	4	3	現在、奏者のみならず製造数も減少している「箏」を学内だけでなく地域でのイベント等で演奏し、演奏を通じて古き良き日本の文化の魅力を伝える活動を行った。
文化学部	文化学科	4	2	学校や地域からの要請に応え、県内学校等を訪問し、自らで作成した子供たちにもわかりやすい教材を用いて、禁止薬物乱用の弊害や危険性についての啓発活動を行った。
看護学部	看護学科	4	2	
文化学部	文化学科	4	1	3回生在学中に日本モーターボート競走会のボートレーサー養成所の試験に合格し、プロの競艇選手となった。その後は選手としての活動と並行して大学へ通い、卒業のために必要となる単位を計画的に取得した。プロ競艇選手と学業の文武両道を実現させ、高い目標を定めて取り組む姿勢が同級生や後輩の学生の模範となった。
看護学部	看護学科	4	4	合同災害訓練において、避難所での生活体験ができる企画を実施・運営することにより、町内会と共催した災害訓練を実現させた。また、第63回四国公衆衛生学会において、四国内の公衆衛生に関連する専門職に向け、学生と地域住民で取り組む地域づくりを発信し、看護学を学ぶ学生が地域の健康づくりにどのように貢献できるか、役割と力を示した。
看護学部	看護学科	4	8	熱中症予防の知識普及を目的としたよさこい祭りでのうちわ配布や香美市物部町神池地区における健康寿命延伸の活動、AED使用の普及活動など、看護学の専門知識を分かりやすく県民に伝え、知識の普及と健康文化を醸成させた。
文化学部	文化学科	4	3	第6期幹部と主要な活動の代表として、精力的に活動し「かつおオリンピック」の開催や「学生ボランティアセンター模擬運営」、「DoNabenet(土鍋ネット)in高知」の開催など活動を新たに発展させた。
看護学部	看護学科	4	3	
社会福祉学部	社会福祉学科	4	4	
社会福祉学部	社会福祉学科	4	1	かんきもんの代表として、「傾聴」「タウンモビリティ」「学習支援」「YCPK」「シグマ」「援農」の6つの部門の全体会議や企画・立案などのコミュニケーションを図り、全体のとりまとめを行うなど、優れたリーダーシップを発揮し活動に大きく貢献した。
社会福祉学部	社会福祉学科	4	3	「高知家地方創生アイデアコンテスト2018」でアイデア賞を受賞し、「地方創生政策アイデアコンテスト2018」の大学生以上一般の部において地方予選を突破した。

学 部	学 科	学年	受賞者数	功 績
健康栄養学部	健康栄養学科	4	5	ローソン高知と連携し、高知家健康パスポートの基準を満たす519キロカロリー、食塩相当量2.0グラムの健康弁当の開発に成功し、実際に店頭に販売された。
健康栄養学部	健康栄養学科	4	5	高知県赤十字血液センターと連携して、高知県学生献血クロス倶楽部および中国四国学生献血推進協議会代表委員会として献血の普及、啓発活動に貢献した。
健康栄養学部	健康栄養学科	4	18	4期生として、先輩や地域の方々の思いを継続しながら大野見での農作業体験や地域イベントへの参加等を行い、また、知事訪問や中土佐町へ受賞の報告に参加し、おのおみエコロジーファーマーズをはじめ、関係者との交流や学生の企画について報告することにより、さらなるPRにつなげた。後輩が定食屋に挑戦した際には、作業や衛生面での指導を行い、南国市十市小学校6年生らが取り組んでいる「学校給食献立作成」にも活動の経験からアドバイスをを行い、好評を得た。
健康栄養学部	健康栄養学科	4	3	公益社団法人日本糖尿病協会が主催する小児糖尿病サマーキャンプに参画し、企画・運営のサポートを積極的に行った。また、キャンプの事前学習として自主的に勉強会を行い、医療スタッフ主催のミーティングに参加し、血糖測定器の使い方やインスリンの打ち方等についても積極的に学んだ。

(3)サーティフィケーション授与状況

協 定 校	氏 名	内 容	招 聘 者
北京聯合大学旅游学院 (中国)	王 琦然	2019年4月1日～2020年3月31日 協定校間の交換留学を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	呂 雯		
文藻外語大学 (台湾)	陳 瑋瑄	2019年4月1日～2020年3月31日 協定校間の交換留学を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	葉 真如		
慶南科学技術大學校 (韓国)	徐 裕珍	2019年10月1日～2020年3月31日 協定校間の交換留学を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
ヴェネチア カ・フォスカリ大学 (イタリア)	Tronchin Marco	2019年4月1日～6月14日 「国際日本学プログラム」を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	Aita Elisa		
	Zorzan Giorgia		
	De Martini Di Valle Aperta Francesca		
	Arena Rossella Maria		
	Daris Chiara		
	Fagioli Chiara		
	Chu Xin		
Giannone Codiglione Eleonora			
エルムズカレッジ (アメリカ)	Abigail Smith	2019年5月25日～6月7日 短期受入プログラムを修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	Maicherish Harris		
	Eleanor Hinchliffe		
	Joshua Whitman		
	Youyi Liang		
	Amanda Rooke		
	Joshua Leoncini		
	Erin Keith		
Alyssa Barnes			
サバ大学 (マレーシア)	Elaine Kong	2019年7月8日～8月2日 短期受入プログラムを修了	高知県立大学 (健康栄養学部)
	Sally Thien Kai Ping		
	Eddy Chin Cheng Kwang		
	Lim Beng Hooi		
	Nur Aqilah Bt abdullah		
	Nurul NajihahBt Adb Karim		
Tan Zin Wen			
慶南科学技術大學校 (韓国)	Lee Hyeonseung	2019年7月16日～8月7日 「夏期日本語集中プログラム」を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	Heo Jaeyong		
	You Reana		
	Oh Jeongmin		
	Hong Hyo Rim		
ガジャマダ大学 (インドネシア)	Adinda Septianingtyas	2019年11月2日～11月9日 短期受入プログラムを修了	高知県立大学 (看護学部)
	Dayana Pangestu Fajri Javasutra		
	Luthfi Azizah		
	Mutiara Anisha Zahra		
	Penta Akhirul Awal		
	Siska Indriani		
	Syara Khairunnisa Heryanto		
Vicky Octavia Putri			
慶南科学技術大學校 (韓国)	Heo Jaeyong	2020年1月28日～2月5日 「日本語・日本文化短期プログラム」を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	Jeong Jaehoon		
	Kim Dongnyeok		
	Kim Junho		
	Kim Youngjin		
	Lee Chaeun		
	Lee Hyejin		
	Park Jongsang		
	Sim Minah		
	Oh Jeongmin		
木浦大學校 (韓国)	パク・サイジン	2020年1月28日～2月5日 「日本語・日本文化短期プログラム」を修了	高知県立大学 (国際交流センター)
	ボン・ハンセム		
	キム・ミンハ		
	イ・ジヒェ		
	キム・ジョンムン		
	パク・ジンジュ		
	キム・ナヨン		
	カン・ジス		
	カン・ダヨン		
	キム・ギョンホ		

5 SD・FD活動実施状況

(1) 全学SD・FD

区分	内容	講師・担当者	年月日	参加者数	主催	共催
S D	教育の質保証と教学マネジメントの確立 ー「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」答申を踏まえてー	山梨県立大学 理事長・学長 清水一彦 氏	R1.7.11	本学教員:47名 本学事務職員:32名 他大学 事務職員:1名	高知県立大学	
F D	第5回越境シリーズ講座 異分野から学ぶ Future Earthー科学の統合的貢献による持続 可能な世界を目指してー	国立環境研究所 特任フェロー 春日文子 氏	R1.6.24	41名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	第10回学際的交流サロン 「研究能力を高める戦略的研究推進プロジェク トの報告会Ⅰ」 ①看護学研究科博士前期課程:教育イノベー ション事業Ⅰ ②中山間地域における生活圏の確保に向け てー土佐郡大川村における地域創造 ③高知県の血管病ハイリスク群への重症化予 防推進モデルの開発ー慢性疾患看護専門看 護師による病院と地域の看看連携を中心にー ④須崎市医療救護病院におけるBCP策定支 援を基盤とした災害対策	①看護学部 長戸和子 教授 ②文化学部 飯地伸五 准教授 ③看護学部 内田雅子 教授 ④看護学部 久保田聡美 教授	R1.7.22	65名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	第11回学際的交流サロン 「研究能力を高める戦略的研究推進プロジェク トの報告会Ⅱ」 ①大川村における栄養教育表示地場産物を 通した健康長寿システムの構築 ②看護学研究科博士前期課程:教育イノベー ション事業 ③高知県の現任教員における新任期待健師 支援プログラムの再構築 ④地域減災とプライマリヘルスケアをつなぐ地 域参加型プラットフォームの構築	①健康栄養学部 稲井玲子 教授 ②看護学部 畦地博子 准教授 ③看護学部 時長美希 教授 ④看護学研究科 神原咲子 教授	R1.9.9	39名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	第12回学際的交流サロン ①平成30年西日本豪雨での栄養支援活動に ついて ②栄養士による支援活動	①健康栄養学部 廣内智子 講師 ②健康栄養学部 島田郁子 講師	R1.10.28	32名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	全学FD研修会 ファシリテーションが拓く新たな大学教育へ対 話と学びあいの空間づくり～	鈴木まり子ファシリテーター事務所 代表 鈴木まり子 氏	R1.11.6	49名	高知県立大学 FD委員会	
	第13回学際的交流サロン 三島由紀夫『仮面の告白』の射程ー戦後社会 と文学との関係性から考えるー	文化学部 田中裕也 講師	R1.11.14	21名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	第14回学際的交流サロン 地域福祉(活動)計画と住民主体のまちづくり ーその持続性に関するー考察ー	社会福祉学部 田中きよむ 教授	R1.12.18	40名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	実践的FDプログラム 「教育方法論Ⅴ」～学生授業評価の性質と授 業への活用～	立命館大学 安岡高志 氏	R1.12.23	25名	高知県立大学 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「授業設計論Ⅰ」～大学の授業の設計～	立命館大学 沖裕貴 氏	R2.1.10	10名	高知県立大学 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「教育評価論Ⅰ」～成績評価の意味と方法～	立命館大学 鳥居居子 氏	R2.1.16	11名	高知県立大学 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「教育評価論Ⅱ」～目標準拠測定に基づく評 価～	早稲田大学 野嶋栄一郎 氏	R2.1.20	9名	高知県立大学 FD委員会	
	第15回学際的交流サロン 災害準備期における看護の取り組み ～災害に具体的に備えることを促すために～	看護学部 渡邊聡子 准教授	R2.1.22	25名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会
	実践的FDプログラム 「教育評価論Ⅲ」～ティーチングポートフォリオ とは～	大学評価・学位授与機構 栗田佳代子 氏	R2.1.27	13名	高知県立大学 FD委員会	
第6回越境シリーズ講座 異分野から学ぶ 少子高齢化社会における地域の医療・防災・ ICTの活用	津田塾大学総合政策学部 森田朗 教授	R2.2.14	35名	学術研究戦略 委員会	高知県立大学 FD委員会	

(2)部局別SD・FD

部 署	内 容	講師・担当者	年月日	参加者数	主催	共催
文 化 学 部	基礎演習に関する情報の共有と意見交換	「基礎演習」担当教員計9名	R1.7.8	22名	文化学部FD 委員会	
	実践的FDプログラム(ディプロマ・ポリシー) ②「FD概論Ⅰ」	①立命館大学 沖裕貴 氏 ②大阪大学 佐藤浩章 氏	R1.12.9	22名	文化学部FD 委員会	
	なくそう・防ごう・気づこう アカデミック・ハラスメ ント		R2.2.10	16名	文化学部 人権委員会	文化学部 FD委員会
看 護 学 部	南海地震に備える	看護学部 竹崎久美子 教授	H31.4.10	50名	看護学部 FD委員会	
	AI時代における看護について	高知工科大学情報学群 敷田幹文 教授	R1.6.29	7名	高知看護教育 研究会	
	FDマザーマップ「教育」について	看護学部 内田雅子 教授	R1.7.11	4名	マザーマップを 活用した新任教 員の主体的な学 びの支援	
	実践的FDプログラム 「教育評価論Ⅰ」～成績評価の意味と方法～	立命館大学 鳥居朋子 氏	R1.9～ R2.1 3回開催	5名	看護学部 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「教育評価論Ⅱ」～目標準拠測定に基づく評 価～	早稲田大学 野嶋栄一郎 氏	R1.9～ R2.1 4回開催	8名	看護学部 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「教授学習理論Ⅲ」～アクティブラーニングを 促す教授法～	愛媛大学 中井俊樹 氏	R1.9～ R2.1 3回開催	3名	看護学部 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「大学管理運営Ⅲ」～リスクマネジメント～	東京ゆまにて法律事務所 井口博 氏	R1.9～ R2.1 2回開催	8名	看護学部 FD委員会	
	実践的FDプログラム 「研究のアウトリーチ活動Ⅰ」～研究者にでき る多様なアウトリーチ活動の紹介～	滋賀大学 加納圭 氏	R1.9～ R2.1 2回開催	3名	看護学部 FD委員会	
	FDマザーマップ「研究」について	アドバイザー 看護学部 畦地博子 教授	R1.11.12	7名	看護学部 FD委員会	
	レポート作成の指導	看護学部 大川宣容 教授 看護学部 瓜生浩子 教授	R1.12.6	3名	看護学部 FD委員会	
	看護・教育・セルフケアに活かせる認知行動療 法	細木病院 公認心理士 池田貴美 氏	R1.12.14	3名	高知看護教育 研究会	
	看護を語る会		看護学部教員	R2.3.9	43名	看護学部 FD委員会
R2.3.11				42名		
社 会 福 祉 部	第49回全国社会福祉セミナー報告	社会福祉学部 西内章 教授 社会福祉学部 加藤由衣 講師	R1.12.23	17名	社会福祉学部 FD委員会	
	シリーズ：研究と社会正義 第1回 障害者の超短時間雇用の事例から 社会の在り方を考える	東京大学先端科学技術 研究センター 近藤武夫 准教授	R2.1.16	社会福祉学部 教員:21名 他部局教員:1名 学生:100名	社会福祉学部 FD委員会	
	学習教材作成における著作権等の理解	常磐大学 坂井知志 氏	R2.1.27	19名	社会福祉学部 総務	社会福祉学部 FD委員会
健 康 学 部	合同災害訓練を振り返り	健康栄養学部 廣内智子 講師 高知医療センター栄養局 坂本一美 氏	R1.12.23	13名	健康栄養学部 FD委員会	高知医療セン ター栄養局
研 究 看 護 科 学	英語論文作成上のピットフォール	看護学部 池田光徳 教授	R2.2.12	看護学研究科 教員:5名 他部局教員:19名	看護学研究科 FD委員会	
地 域 教 育 研 究 センター	実践的FDプログラムの活用について	地域教育研究センター 鈴木康郎 准教授	R2.2.25	4名	地域教育研究 センター FD委員会	

(3) 全学人権研修会

部署	内容	講師・担当者	年月日	参加者数	主催	共催
全学	ハラスメント防止のためのアサーティブ・コミュニケーション	特定非営利活動法人アサーティブジャパン 専属講師・事務局長 牛島のり子 氏	R1.11.12	教員:48名 事務:38名	高知県立大学 人権委員会	

(4) 部局別人権研修会

部署	内容	講師・担当者	年月日	参加者数	主催	共催
学文部化	なくそう・防ごう・気づこう アカデミック・ハラスメント(再掲)		R2.2.10	16名	文化学部 人権委員会	文化学部 FD委員会
看護学部	高知県立大学看護学部におけるハラスメント防止に関するガイドライン		R1.5.29	39名	看護学部 人権委員会	
	アカデミック・ハラスメントの解決ー大学の常識を問い直すー		R1.12.18	31名	看護学部 人権委員会	
社会学部福祉	無意識の偏見が招くパワーハラスメント		R2.3.23	19名	社会学部福祉学部 人権委員会	
健康学部	無意識の偏見が招くパワーハラスメント		R2.1.27	15名	健康栄養学部 人権委員会	
地域センター教育研究	なくそうパワーハラスメント 管理職のためのパワーハラを起こさない職場づくり		R2.2.25	5名	地域教育研究センター 人権委員会	
事務局	わからないから、確かめ合うーコミュニケーションー		R2.3.6 R2.3.9	51名	事務局	

(5) 学外研修

部署	内容	期間	参加者数	主催
看護学部	すぐ使える90分セミナー 教育研究	R1.5.24	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	はじめてみよう！アクティブ・ラーニング	R1.9.5	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザインー考え方と進め方ー	R1.9.5	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	グループワークの技法	R1.9.6	2名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
社会学部福祉	大人数講義法の基本	R1.9.10	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	eラーニング活用(入門編)ー学習支援システムMoodleソフトを活用してきめ細やかな学習支援を実現しようー	R1.9.12	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
健康学部	障がいをもつ学生の理解と支援	R1.6.26	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
事務局	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ)【新任職員研修】	R1.5.13~5.15	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	「次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)」開放講義	R1.5.23~5.24	2名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	クレーム対応実践	R1.7.5	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	「次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)」開放講義	R1.7.19~7.20	4名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク

部 署	内 容	期 間	参加者数	主 催
事 務 局	SPODフォーラム2019	R1.8.28～8.30	10名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	公立大学法人会計セミナー	R1.9.11～9.13	1名	一般社団法人 公立大学協会
	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム 研修(レベルⅢ)	R1.9.25～9.27	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	「次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)」	R1.10.24～10.26	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク
	「次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)」	R2.1.23～1.24	1名	四国地区教職員 能力開発ネットワーク